

川崎市青少年育成連盟 (社)川崎市子ども会連盟・ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会・川崎海洋少年団

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

中高生リーダー研修会『絆』

平成27年度中高生リーダー研修会が、平成27年11月14日(土)から15日(日)の2日間、川崎市黒川青少年野外活動センター(川崎市麻生区)で、34名の参加者のもと開催されました。

今年度の研修会の目的は、川崎市内で活動している4つの青少年育成団体である「一般社団法人川崎市子ども会連盟」「ボーイスカウト川崎地区協議会」「ガールスカウト川崎市連絡会」「川崎海洋少年団」に所属する中高生が、「絆」をテーマに、一泊二日の研修会の中、互いの活動を紹介し、互いの活動を実際に体験してみることで、同じ川崎市内の仲間として、一緒に学び、交流することです。

この研修会に向け、各団体の中高生や指導者が研修委員として集まり、会議を重ねて、企画や準備を進めてきました。



研修内容

- ・アイスブレイクやレクリエーション
 - ・食材をかけた真剣なゲーム
 - ・ゲームで勝ち取った食材でグループ調理
 - ・キャンドルファイヤー
 - ・ターザンロープ
 - ・クラフト
- など楽しいプログラムがいっぱい！



委員長

ボーイスカウト川崎第46団 江上 徹志

私は今回委員長として参加させていただきました。楽しい研修会にするために、約半年間かけて委員一丸となって計画を進めました。研修会当日は多くの方が参加してくださり、賑やかな会でした。

食材をかけたゲームでは、BS、GS、子ども会の混合チームなのでよい交流になり、終わった後は「楽しかった」「もう1回やりたい」などの声が聞けたことはとても嬉しく印象に残っています。研修中、役割分担がしっかりできていなくて、進行がスムーズに行かないことがあったので反省しています。

委員長として至らない部分が多く頼りなかったと思いますが、今回の研修が成功してよかったです。皆さん、最高の思い出をありがとうございました！

ボーイスカウト川崎第56団 遊馬 未来

普段一緒に活動をしな分、ガールスカウト、子ども会などのお互いの活動内容を全く知らなかったの、知ることが出来てよかったですと思います。レクなどはボーイスカウトでは聞いたことのないものもあったので、ここで自分が体験したものを現隊に持ち帰って自分たちの知識として身につけたいと思います。

新江ノ島水族館お泊りナイトツアー 11月7日(土)~8日(日)

閉館後の水族館で、夜の生きものたちの様子をスタッフ（トリーター）のガイドで館内を回りました。ナイトツアーの前後には館内見学もできました。夜間滞在は相模湾大水槽の前。ここに寝袋がズラリと並びました。

ガールスカウト神奈川県第32団 ジュニア 木下 茉優

新江ノ島水族館ナイトツアーに参加して、夜の魚のすがたを知ることができました。相模湾大すいそうでは昼間はむれで行動しているイワシが夜になるとむれではなくていました。そのすきをねらってエイはイワシを食べていました。他の魚も動きがゆっくりになっていました。チームラボとのコラボも心に残りました。特にお絵かき水族館では、自分でかいた魚が画面で動き出すのはとっても楽しかったです。花と魚がうつった相模湾大すいそうもきれいでした。心に残るいい思い出になりました。

第40団 ジュニア 坂本 優希

新江ノ島水族館のナイトツアーの時に、飼育員さんからエイやサメの、オスとメスのちがいを教えてもらったので、エイやサメをみるとすぐにちがいがわかるようになりました。

お泊りナイトツアーでしか見られない夜行性の魚のすがたが見られて良かったです。

第40団 ジュニア 平野 夏帆

私の将来の夢が動物関係の仕事に就くことでその中で水族館の飼育員になりたいなと思っていたので参考になりました。また新江ノ島水族館のナイトツアーに行って泊まりたいです。大水槽の前で寝られたのが一番楽しかったです。

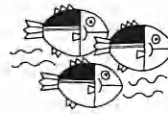
第31団 レンジャー 大川 美羽

いつも見ている水族館はのんびりゆったりしている場所だったが、夜の水族館は少し妖しげで「美しい」という言葉がぴったりでした。夜の魚たち

ガールスカウト川崎市連絡会



プロジェクションマッピング



お絵かき水族館

を見ると、意外とあまり寝ないで泳いでいることも分かりました。また、魚たちの説明もトリーターの方が詳しく分かりやすくしてくれて、とても興味深く勉強になりました。以前テレビで知って実際に見たかった「プロジェクションマッピング」は魚にも水槽にも花が映ってとてもきれいで感激しました。

第40団 レンジャー 遠藤 夕葵

水槽の中では餌を定期的に与えられているので餌をとるのに必死にならなくても生きていくことが出来ます。水槽の中の魚は同じ水槽の魚を食べないと思っていましたが、暗くなった瞬間にエイが小さな魚を食べるところを目撃して私は唖然としました。水槽の中でもしっかりと生態系を楽しんでいるところに生き物の神秘を感じました。

第14団 ブラウニー 徳田 空

えのしまずいぞくかんのだいすいそうでねぶくろでねました。よるごはんは、しらすごはんでした。とってもおいしくっておいしくって、ぜんぶたべおわりました。

そしてあさごはんは、かめのめろんばんをたべました。たのしかったです。

神奈川県連盟大会を開催！！

川崎海洋少年団 山岡 修

神奈川県連盟大会を平成27年12月19日(土)~20日(日)1泊2日で開催しました。

横浜市金沢区の野島公園内にある横浜市野島青少年研修センターを会場として、川崎団をはじめ横浜団、横須賀団の3団が集いました。

野島には初代内閣総理大臣の伊藤博文さんが建てた金沢別邸があり、明治期の別荘地の数少ない貴重な建築遺構として現在もここにあります。

年に1回の大会は、各団の団員同士が親睦を図れるようなプログラムに編成しました。

入所式が終わり、最初のプログラムは、横浜市消防局金沢消防署の職員より、AEDを活用し心肺停止を蘇生させる救命入門の講習会を心肺蘇生訓練用の人形を使い指導を受けました。救命するために大声を出すことを最初は恥ずかしがっていましたが、消防署職員の指導によりだんだんと声が出るようになり、活気がある講習会となりました。

夜のプログラムは、今大会のメインイベントで高校生がレクリエーションリーダーを務めたクリスマス会です。レクリエーションゲームをふんだんに取り入れて各団の団員が入り交じり、体を使った体力ゲームや静かなる頭脳ゲームで盛り上がり、最後にプレゼント交換でさらに盛り上がり締めくくりました。

20日(日)の活動は、清掃活動から始めました。野島公園には、横浜市内で唯一の自然海岸が残っています。朝日に海が照らされ輝いている向こう岸には、八景島シーパラダイスが見える海岸清掃をしました。海からのいろいろな漂着物があり、そんなに広くない海岸ながらたくさんのごみを集めることができました。

大会は順調にプログラムを終え、閉会をむかえることができました。神奈川県連盟として、ますます活発に活動することを誓い散会しました。

23WSJ 所感

ボーイスカウト 日本派遣団 第2分団 第1隊 隊長 安藤 聡

ボーイスカウトで4年おきに行われる世界大会が世界スカウトジャンボリーであり、昨年夏に第23回の開催をむかえた。日本で行われたのは、40数年ぶりのことである。

参加できるスカウトの年代は中学生から高校生。川崎からは35名のスカウトと4名の指導者が参加し、山口県きらら浜で約2週間のキャンプを行った。

日本で開催されたとはいえ、全参加者33,000名のうち、日本人は6,000名程度。さらに、参加側(キャンプをおこなっていた派遣隊)の人数は約半分であり、キャンプ会場では周囲は海外からの派遣隊ばかりだった。

ジャンボリーでは約2週間キャンプをする中で世界のスカウトとの交流とゲームプログラムが行われ、スカウト達は世界との文化の違い、ふれあい、つながりの大切さという意味で、決して他では得られない貴重な体験をしたと感じている。

現地に行く前、2月に派遣隊結隊を行い、都合4回の事前集会和、各班延べ8回以上行われた班集会で少しずつ彼らの連帯感を高め、自分達でたてた目標である「世界を知りたい、世界とつなが

りたい」を実現するための用意をした。

班集会、班会議での時間を十分にとった事で、目標に向けた取り組みが練り上げられていったがそのプロセスもまた得難い体験だったろう。

ジャンボリー会場では、スカウト一人ひとりが日本派遣隊として日本の代表としての意識を持って活動してくれた。

決してこじんまりしたわけではない。フィンランド、イギリス、オーストリア、アメリカ、タイ、ドイツ等、毎日のように時間を見つけては交流し合い、カタコトの語学力でありながら身振り手振りで話をし、沢山のアイデアで、海外の隊のスカウトを楽しませてくるスカウト達の好奇心と意欲には舌をまいたものである。

毎日余る食材をサイトの周囲をサンドイッチマンのように看板を掲げて、配って回るアイデアもそんな中から生まれた。「Free Food!」飛ぶようになってゆく…。彼らのような若者がいる限り日本も世界も安泰ではないか。

彼らが見せてくれた取り組みは大いに愉快で、隊長として参加した私の一生にとっても忘れえぬ思い出となった。心から彼らに感謝したい。

サマーキャンプ in しもさく

高津区子ども会連合会 緒川 昌史

当地区では、小学校近隣の子ども会が共同でいくつかのイベントを行っています。その中の一つが「サマーキャンプ in しもさく」です。「いざという時に備え、自分たちでテントを張って一晩過ごす経験をしよう!」をテーマに小学校の校庭にテントを張って一晩を過ごします。このサマーキャンプでは、プールの開放やお楽しみイベント、ダンボール工作も行います。

初めて親元を離れてお泊りに挑戦する子どももいるので、その中には残念ながらホームシックにかかってしまい、夜遅くに保護者の方にお迎えをお願いするケースもあります。しかし、学年があがるにつれて子ども達も慣れていき、夜通し起きて友達とのおしゃべりを楽しみにしているような子

どももいたりします。

今年度も第23回を数え、約150名の子どもが参加しました。このイベントに参加するのが目的で子ども会に入会する子どももいます。たくさんの保護者の方にもご協力いただき、食事作りや夜の警備も行います。中には「自分も子どもの時に参加した」という保護者の方もいて、あらためて歴史の長さを感じることもできました。

子ども達は楽しみながら、たくさんの保護者の方とも交流が広がり、それらの経験が万が一というときに役にもたつことにつながるこのイベントを、これからも大事に、更によりよく、次世代につなげていきたいと思えます。



川崎市子ども会連盟 第49回作品展

麻生区子ども会連合会 門田 真知

平成28年2月6日(土)～7日(日)等々力アリーナにて恒例の作品展が開催され、7つの区から優秀作品……書道289点、絵画246点、ちぎり絵126点が出品されました。アリーナ内は作品展示用に出来ていないため、試行錯誤を繰り返し、苦肉の策で何とか半日で綺麗に(?)展示。6日午後小学校の先生方と川崎市総合教育センターの職員による審査の結果、書道小学生の部、中学生の部、絵画の部、ちぎり絵の部から最優秀4点、優秀22点、入選36点、佳作40点が選ばれました。書道は小学校低、中、高学年とそれぞれ課題が決まっています、同じ文字でも様々な表現がなされています。自由課題の絵画、ちぎり絵においては時期的に申年の猿などのテーマが多くあり、思い出のいっぱいあった作品でした。惜しくも入選出来なかった作品にもなかなかの力作がありました。

7日はアリーナ内で川崎市子ども会連盟の羽根つき大会があり、大勢の方に観て頂く事ができました。終日、自分やお友達の作品の前で嬉しそうに写真を撮る親子連れで賑わいました。

その後、2月10日～15日高津市民館ウォールギャラリーに展示され、2月21日(日)同所12階大会議室にて表彰式が行われました。幼児や小学校低学年の子は、初めての晴れ舞台に目を輝かせ、小さな手からこぼれるような賞状と賞品に戸惑いながらも嬉しそうに自分の席に戻りました。



ガールスカウト・シニア・レンジャー集会

ガールスカウト神奈川県第40団・31団

第40団 シニア 福島 梨穂

1月23日(土)から24日(日)の集会ではクラフトとカラーガードをやって楽しかったです。クラフトは糸を編んでストラップ、軍手クリップ、笛の紐を作り、夢中になって編んでいました。最初は上手く編めず苦戦しましたが、慣れるとスピードも速くなりきれいに編むことができました。

カラーガードは初めて見て、体験しました。旗だけだとできた技もステップが付くと出来なくなったりで上手くできませんでした。カラーガードはめったにできないと思うので、この経験を何かに活かせるといいなと思いました。

第31団 レンジャー 大山 晏佳

昨日は途中からの参加でしたが、クラフトを作ったり、DVDを観たり、いろいろな方々と話したりと、たくさんのがたが楽しかったです。クラフトの色違いを作りたいです。2日間で学んだことを活かして団で色々できたらと思います。私は居なかったので作れなかったのですが、手作りチョコがとても美味しかったです。ありがとうございました。

また、こうして集まって色々なことがしてみたいです。



川崎市立学校インターネット問題相談窓口(ネットの悩み相談しよう!)

子どもたちを取り巻くインターネット問題のトラブルについて、相談に応じています。

電話相談 044-844-3638

受付:平日 8:30~12:00 12:45~18:00 18:45~20:15

PCメール <http://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000027223.html>

携帯メール https://sc.city.kawasaki.jp/multiform/k/multiform.php?form_id=74

発行 川崎市青少年育成連盟
 事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
 生活文化会館(てくのかわさき)3階
 TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
 川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社